



DMI 国際ろう者支援会 日本

2012年夏号

敬愛する支援者の皆様

猛暑の続く毎日ですが、皆様がお元気に過ごされますようにと願っています。これを書いている朝はまだ涼しいですが、お昼までには暑さ厳しくなるでしょう。7月前半は今までになく涼しかったように思います。世界中の気候は予想の難しい状況ですが、私たちのろう学校や教会もそのようです。お互いに祈り支え合いましょう。

今月はDMI国際スポンサーシップのコーディネーターであるジェニー・リードからの近況報告を同封します。各国の報告をお楽しみいただけると思います。

ネヴィル・ミュアーの来日

DMI国際総主事のネヴィル・ミュアーとリル夫人が来日します。韓国訪問とノルウェーでの国際理事會出席のため日本滞在期間は短いですが、支援者の皆様とお会いして有意義な時を過ごしたいと願っています。下記の集會を予定していますので、どの集いでもまた全てにでもご参加くだされば幸いです。

9月29日(土) 午後6:30

大阪インターナショナルチャーチ
大阪クリスチャンセンター2階チャペル
連絡：ダニエル・エルリック牧師
Tel 06-6768-4385

Email pastor@oicjapan.org

ホームページ <http://oicjapan.org>

9月30日(日) 午前10:30

宝塚ルーテル教会
連絡：ネイセン・マイケルセン牧師
Tel 0797-86-0117

Email nathaninge@gmail.com

ホームページ <http://takarazuka-lutheran-church.sola-la.com>

9月30日(日) 午後2:30

リジョイス・インターナショナル尼崎

連絡：ジャック・マーシャル牧師 & 恵子夫人

Tel 090-6664-8655

Email jkmwoi@earthlink.net

10月2日(火) 午前10:30

六甲ルーテル教会
近畿福音ルーテル教会兵庫地区女性会
連絡：松田聖一牧師

Tel 078-841-3466

10月2日(火) 午後7:30

「DMI近況報告・ミュアー夫妻との交わり」
クリスチャンフェローシップセンター京都
連絡：アレイン・マドレ

Tel 075-871-8562、090-1028-8844

Email alaynemadore@mbr.nifty.com

フィリピン訪問

前回の手紙でお知らせしましたように、来年2013年2月にDMIフィリピン訪問を計画しています。ジャック・マーシャル牧師による聖書の学びも現地のスタッフや生徒たちを交えて行い、励ましになればと願っています。ネヴィル・ミュアーも現地で私たちを案内する予定です。多くの皆様にご参加くださることを願い、その時を楽しみにしています。DMIの支援者でなくても参加いただけますが、子どもをご支援くださっている方はその子どもに会う良い機会です。まだ飛行機と宿泊先の詳細をお伝えするには早過ぎますが、スケジュールはほぼ決まりました。

2月18日 マニラ着 13:05、ホテルへ移動。午後、マニラ観光、リザル公園、エルミタ近郊、レストランにて夕食。

2月19日 マニラからレガスピ着 13:50。カグサワ・ルインズ訪問、学校とプロジェクト訪問。

2月20日 午前、学校訪問、スタッフと生徒たちと共に聖書の学び、マニラ経由ダバオ着 18:40、ホテルへ。

2月21日 午前、学校訪問、生徒たちとのプログラム、学校にて昼食。午後、パラダイス島、又はフィリピン・イーグル訪問。

2月22日 マニラ経由バコロド着 10:25、ホテルへ。ろうセンターと聖書学校訪問、昼食。午後、寮にて夕食、ホテルへ。

2月23日 フィリピン航空 マニラ着 11:25、日本へ帰国。

この旅への参加は、年を取っている若すぎるなど考えないでください。一般の旅行会社のツアーではないので、皆様のご要望に沿いたいと思っています。団体旅行ではなく参加者それぞれが、フィリピンで神様がろう者をどのように祝福されているかを見るのが目的です。今回のニュースレターで更に詳しく情報をお知らせして申込書も同封いたします。ご質問があればアレイン・マドレまでご連絡ください。Tel 075-871-8562、090-1028-8844 Email alaynemadore@mbr.nifty.com

皆様のご関心とご支援を心から感謝します。神様の祝福が豊かにありますように。

DMI国際ろう者支援会 日本
理事長 アレイン・マドレ



Deaf Ministries International

DMI 日本部

Web: <http://japan.deafmin.org>

Email: info@japan.deafmin.org

郵便と電話は、大阪インターナショナルチャーチ：
〒540-0004 中央区玉造 2-26-47-407

Tel/Fax: 06-6768-4385

DMI国際本部 (オーストラリア)

Web: <http://deafmin.org>

Email: muir@deafmin.org

P.O. Box 395 Beaconsfield Vic. 3807
Australia

Tel: +61-3-5940-5430

Fax: +61-3-5940-5432



DMI 国際ろう者支援会 スポンサーシップ ニュースレター 2012年7月

敬愛する支援者の皆様

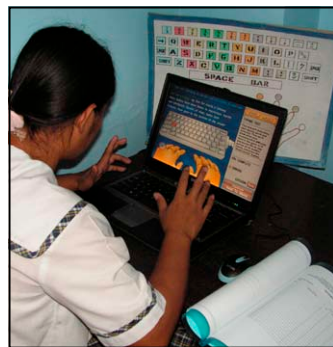
DMIの学校に通っているろうの子どもや青年たちに対する皆様のご支援を感謝いたします。私は2月にアジアにある学校を訪問することができ、子どもたちの写真や皆様への新しい情報をお伝えできることをうれしく思います。生徒たちが自信を持って能力的にも成長している姿に会うことができずばらしい時でした。

村々ではろうの子どもが一人孤立していることがよくあります。学校に通い始めて他のろう者に出会い友だちができます。生徒たちは外国の方々为学校で学べるように支援して下さることをとても喜んでいきます。

ダバオとカガヤンデオロ ミンダナオ島 フィリピン

ダバオでは4月に15人の生徒が高校を卒業し、3人が大学を卒業しました。私はその教育水準と献身的な働きをしているスタッフたちに感心しました。この学校は地域の自治体から高い評価を得、地域社会にろう者意識を高めるために貢献しています。私たちの訪問中に、視覚障害の生徒たちのグループのギター音楽や歌声が流れてくるのを聞いて楽しみました。昨年私たちの生徒は洪水の後片付けの手伝いをしたので、今は学校の隣接地を畑として使わせてもらっています。

ミンダナオ島北部のカガヤンデオロでは、何人かのろう者は視覚障害の年少の生徒たちと共に国立特別教育センターに通い、その後ダバオの学校に転校して年長教育を受けます。カガヤンの指導者たちは自律支援プロジェクトを立ち上げ、数人のろう者を採用して学校の自律を支援しています。男性のろう者たちは養豚に成功しています。ゴム農園ではゴムの収穫が見込まれ、9月に数人のろう者が農園で働き始めます。



リガオとマリナオ ビコル地域 フィリピン

私たちはリガオで歓迎され、その高校生教育を向上させているコンピューター教育に感動しました。献品されたラップトップコンピューターを感謝しています。素晴らしい教育の助けになっています。今までにコンピューター技術を持っていたために就職できた生徒たちもいました。今年度から小学生もコンピューターの授業を受けます。昨年は12頭の豚が飼育され売りに出されました。農園では米栽培をし、パパイヤ農園では豊かな収穫が期待されています。

マリナオでは、小さな学校の生徒が減少し校舎に損傷が出ているので、地域当局から建て直しを強要されています。この土地には洪水が頻繁に起こったので、リガオに移転することに決断しました。教師たちは年少の子供たちの家を訪問し、両親に国語と手話のコミュニケーションについて教えます。年長生はリガオに通い、図書室、コンピューター教育、職業訓練を受けることができ、生徒たちとチームでスポーツを楽しむこともできます。

バコロドとボロンガン ヴィサヤ島 フィリピン

1月に新設されたバコロド寮を訪問して改装し、子どもの二段ベッドなどを作ってくださったイラワラサンライズ・ロータリークラブの奉仕チームに感謝します。新しい寮に必要な寝具や必需品も持ってきてくださいました。広々としていて子供たちは楽しんでいきます。特に雨季に使いやすい室内の遊び場があります。子どもたちはコンピューターを使うことも好きです。熟練した教師や愛をもって世話をする寮長夫妻などが宿題の手伝いをしています。私たちは子どもたちが見せてくれたフラフープ遊びをとても楽しみました。

ボロンガン寮では、十代の生徒たちは良く勉強し学校の休みが終わる前に学校に戻ってきます。生徒の両親たちは手話クラスが遠くて行けないので、生徒たちが両親に手話を教えています。ほとんどの生徒は遅れて学び始めましたが、できるだけすべてを学べるように一生懸命です。



インマヌエルろう学校 カレイ ミャンマー

新しい校舎の完成は素晴らしいお祝いの時となりました。父兄や地元の方々も出席し、生徒と教師たちは民族衣装を着ました。新築祝に生徒たちは一時間も風船を持って立ち、テープカットで一斉に風船を飛ばしました。生徒たちはミャンマーの大きな地図も作りました。

新しい校舎の一階には教室が4部屋あり、窓枠やドアにはきれいな地元の木材が使われています。二階には大きな多目的ホールがあり、大勢の集まりや雨季で外がぬかるみの時の競技にも使用できます。

新しい台所は炊事場周辺には防災機材が使われ、食器洗いの大きな水桶もあります。まもなく食堂の壁も完成します。幸い学校に井戸があり、お風呂場は雨季が終わってから完成しますがお湯がでません！ミャンマー風のお風呂とは石鹸で洗ってから容器に入った冷たい水で流し流すことです！

ピンタウオー村の大人のろう者たちは学校の休暇中にそこでキャンプをし、カレーに始めて行った人たちもいました。手話でコミュニケーションすることは、皆を笑顔にさせ人生に自信を持てるようにしています。



ウガンダ

ワキソろう高等学校には現在ろう者が6人いて勉学に励んでスポーツにも参加し、また若者のグループにも貢献しています。将来その幾人かは指導者になると期待されています。ムラゴ学校には支援されている4人の生徒がいて、ブワンダの聖マルコ第七学校には3人の生徒がいます。今年年長の生徒の一人はウガンダろう者訓練センターで製図を学んでいます。聖マリアろう学校の数人の子どもは孤児です。ウガンダの子どもたちをご支援くださっている皆様に感謝します。皆様のご支援なしではこの子どもたちは学校で学ぶことができません。

ろう学校の教師過程の学びをしている若い教師たちは、他の学校での経験を積んだ後にまもなく学校に戻ってきます。

ザンビア

現在ザンビアの男の子2人が里親支援を受けています。その一人は歩行困難なので車椅子を与えられました。彼らの地元の学校に通っているので支援費は高額ですが、ご支援いただける方はご連絡ください。アフリカの国々でのろう者教育は費用が高くて困難です。

インマヌエルクリスチャンろう学校 ケニア

2011年にこの学校は、全国のろう学校38校のうち2番目に高い教育レベルとの評価を得ました。校長と献身的な教師たちに敬意を表します。スポーツの対抗試合にも参加して3位になり、4人の生徒は全国大会での地域代表となりました。毎年何人かの生徒が難解な入学試験に合格し高等学校に入学しています。地域社会でもろう者意識の向上に寄与しています。

長年この学校を支援くださっているアメリカの友人の経済的援助によって、生徒70人が使用できる寮が完成しました。新しいレンガの入口と頑丈な門は寮の安全を守り、お風呂も作られましたが、基金のための資金はまだ必要です。ここでも石鹸を使ってから容器に入った冷たい水で石鹸を洗い流しています！農場では鶏を飼い新鮮な卵と肉を供給し、牛乳のための牛、やぎ、水を運ぶロバ、多くの果物と野菜もあります。農場の産物は子どもたちに新鮮な栄養ある食べ物を備え、余剰分は売って学校の支援となります。

学校のスタッフは財政的に節約しているにもかかわらず、学校運営にはまだ十分でない状態です。月によっては最低限の不足を生じるため、皆様のご支援をお願い致します。他にご支援くださる方やグループをご存じでしたらお知らせください。



皆様のご支援を心から感謝いたします。

ジェニー・リード DMI 本部 国際スポンサーシップ コーディネーター

日本： 日本の支援者の皆様に感謝します。皆様のご支援は学校と子どもたちに用いられています。残念ながら今までご支援くださっていた何人かが事情により里親支援を止められました。ろう者が

良い教育を受け続けられるよう月3000円ご支援くださる方を求めています。これは子どもたちに神様の愛を伝える喜びです。日本でのご支援については、アレイン・マドレまでご連絡ください。Tel 075-871-8562 Email alaynemadore@mbr.nifty.com

DMI JAPAN Summer 2012

- English -

Dear Friends of DMI,

I do hope you are all keeping well during the hot summer days! Actually as I write this it is still cool, but I am sure it is going to be hot before lunch. I can't remember it being so cool in July before. Weather all over the world is quite unpredictable these days, and this includes the areas where our schools and churches for the deaf are. Let's continue to hold each other up in prayer.

This month I am sending out the update from Jenny Reid in Australia who is in charge of our school and child sponsorship programs. She has lots of news which I am sure you will enjoy reading.

VISIT OF EXECUTIVE DIRECTOR

We are really pleased to announce that DMI Executive Director, Neville Muir and his wife Lill, are coming to Japan. It will be a short trip as they have to visit Korea as well, then Neville needs to go on to the International Board meetings in Norway. But we are going to make the most of their visit and hope many of our supporters and prayer partners will be able to meet up with them as well. The following is the public meeting schedule, and we would be delighted if you were free to come to any of them, or all of them!!

Sat. September 29th, 6:30 p.m.

Osaka International Church
Osaka Christian Centre, 2F Chapel
Contact: Pastor Dan Ellrick
Tel: 06-6768-4385
Web: <http://oicjapan.org>
Email: pastor@oicjapan.org

Sun. September 30th, 10:30 a.m.

Takarazuka Lutheran Church
Contact: Pastor Nathan Mikaelson

Tel: 0797-86-0117
Web: <http://takarazuka-lutheran-church.sola-la.com>
Email: nathaninge@gmail.com

Sun. September 30th, 2:30 p.m.

Rejoice International - Amagasaki
Pastor Jack and Keiko Marshall
Tel: 090-6664-8655
Email: jkmwoi@earthlink.net

Tues. October 2nd, 10:30 a.m.

Hyogo Ken Lutheran Ladies
Fellowship, Rokko Lutheran Church
Contact: Pastor Seiichi Matsuda
Tel: 078-841-3466

Tues. October 2nd, 7:30 p.m.

"DMI Update and Meet the Muirs"
Kyoto Christian Fellowship Center
Web: http://www.geocities.jp/kyoto_cfc
Contact: Alayne Madore
Tel: 075-871-8562, 090-1028-8844
Email: alaynemadore@mbr.nifty.com

VISIT TO PHILIPPINES

As I mentioned in my last letter we are planning a visit to see the work of DMI Philippines in February 2013. As we go it is our desire to encourage the staff there, and the students, as we share a devotional time with them led by Rev. Jack Marshall. Our executive director, Neville Muir, is planning to be there to show us around the work. We are excited about it and hope many of you will be able to come. You do not have to be a financial supporter of DMI to come, but for those sponsors who have children in the Philippines, this will be a good opportunity to meet the child you are sponsoring. It is still too early to give you flight details, hotel names, prices etc. but we do have our schedule planned out.

2/18 Arrive Manila 13:05.

Transfer to hotel. Afternoon sightseeing in Manila. Visit Rizal Park, Ermita area. Dinner at

restaurant.

2/19 Manila to Legaspi, 12:45 flight arrive 13:50. Hotel, visit Cagsawa Ruins, visit school and projects.

2/20 Visit school again for devotions with staff and students. Spend morning at school. 14:20 flight to Manila and Davao. Arrive Davao via Manila 18:40. Straight to hotel.


2/21 Morning at school. Program with students, lunch at school. Afternoon visit to Paradise Island or Philippine Eagle.

2/22 6:20 am flight to Bacolod via Manila, arrive 10:25. Transfer to Hotel. Visit Deaf Center and Bible School. Speak to students. Lunch. Afternoon to the Dorm and dinner there. Back to hotel.

2/23 Philippine Air flight to Manila 10:15 am, arrive 11:25. Fly back to Japan.

Please do not feel you are too old or too young to join us. This is not your usual travel agency tour. It will be informal and we will try and cater for the needs of all who join us. We are just a group of individuals with a common purpose of seeing what God is doing among deaf people in the Philippines. I hope to give you more information in our October newsletter together with application forms. In the meantime please feel free to contact me if you have any questions: Alayne Madore, Tel. 075-871-8562 or 090-1028-8844, email alaynemadore@mbr.nifty.com.

The Lord bless you each one and we do appreciate your interest and support for DMI.



Chairperson, Japan DMI Board



Dear Sponsors and Supporters

Thank you for your ongoing support of the dear deaf children and young adults attending our schools. I was fortunate to be able to visit our schools in Asia in February to take new photos to send to sponsors and update information. It is wonderful to meet the students and see how they are growing in self esteem and knowledge.

In their villages the children are often the only deaf person. It is not until they go to school that they meet other deaf children and enjoy having deaf friends. The students are very happy to know that someone in another country has sponsored them to go to school.

DAVAO and CAGAYAN DE ORO on MINDANAO ISLAND in the Philippines

At **Davao**, 15 students graduated from High School, and 3 students from College in April. I was impressed with the standard of education and the dedication given by the Directors and staff there. This school is highly regarded by the local government and plays an active role in deafness awareness in the community. A high school group for blind students has commenced and those of us blessed with hearing enjoyed the guitar music and singing wafting through the building during our visit. Last year our students helped some neighbours to clean up after the flood and they have allowed us to use their block of land next to the school as a garden for no charge.

At **Cagayan de Oro** on northern Mindanao Island some deaf and blind students attend the government Special Education centre when young, but move to our school in Davao for higher education. Our leaders at Cagayan have established self sustainable projects that employ several deaf people and help support the schools. There is a very successful piggery that employs deaf men. The trees at the rubber plantation have started producing rubber and several deaf people will start employment there in September.



LIGAO and MALINAO in the BICOL area of the Philippines

We were very warmly welcomed at **Ligao** and impressed with the computer studies that are enhancing the education of the high school students there. We are very thankful for the laptop computers that have been donated. They are a wonderful learning tool. Some past students have even gained employment in this area. The primary students will also start computer classes this school year. About a dozen pigs were raised and sold last year. Rice is grown on the farm and the papaya plantation has a good crop ready for harvest.

At **Malinao** the number of children at this smaller campus has been decreasing and the building has deteriorated to the extent that the local authorities are insisting that it must be completely rebuilt. This land has always been subject to flooding; so the decision has been made to move to the Ligao campus. The young children will be provided with a visiting teacher at home and the parents will be shown how to teach language and communicate with their children using signing. The older children will move to Ligao and benefit with access to library facilities, computer education, vocational classes and the advantage of having enough students to have teams to play sport!

BACOLOD and BORONGAN in the VISAYA ISLANDS in the Philippines

We are very grateful to the Illawarra Sunrise Rotary Club for the work party that visited the new **Bacolod Dormitory** in January and made alterations and built bunk beds for the children. They also bought new bedding and other supplies needed to set up the dorm. It is very spacious and the children have lots of fun. There is an inside play area that is especially handy in the rainy season. The children love using computers too. They are helped with home work by a trained teacher of the deaf and lovingly cared for by our house parents and other workers. We had lots of fun with these children showing us how to do hula hoop!

At the **Borongan Dormitory** the teenage students are studying hard and enjoying it so much that they come back early after the holidays. These students teach their parents signing because distance stops parents from coming to signing classes. Most of these students have started school quite late but are working hard to learn all they can.



IMMANUEL SCHOOL for the DEAF at KALAY in MYANMAR

The opening of the new classroom building was a wonderful celebration for the school. The parents and many local people attended and the children and teachers dressed in colourful ethnic costumes from the areas where they live. Some students stood still for nearly an hour holding balloons that were released after the ribbon was cut to open the building. The children also made a large jigsaw of Myanmar.

The new building has 4 classrooms downstairs with beautiful local timber framed windows and doors. The large assembly room upstairs will be very useful for large gatherings and for games in the rainy season when the playground is muddy.

The new kitchen has fireproofing around the open fireplaces and large water tubs for washing dishes. The concrete walls of the new dining room will be completed soon. The school is fortunate to have a well for water and the bath house will be finished as soon as the rainy weather is over; but there is no hot water! Washing is Myanmar style with soaping up and rinsing off using jugs of cold water!

The deaf adults from Pintaw Oo village had a 'camp' at the school during the holidays and for some this was the first time they had been to Kalay. Learning to communicate in sign language is putting a smile on their faces and building self esteem in their lives.



UGANDA

There are 6 students at **Wakiso** Secondary School for the Deaf now and they study very hard as well as playing sport or contributing to the Scouts and youth groups. We expect some will be leaders of the deaf in the future. **Mulago** School has 4 sponsored students enrolled and there are now 3 students at **St Mark VII School in Bwanda**. One older student is now studying Technical Drawing at Uganda Society for the Deaf Training Centre. There are several young children who are orphans at **St Mary's** School for the Deaf. Thank you to everyone who sponsors children in Uganda. These children would not be able to attend school without your sponsorship.

The young trainee teachers of the deaf will be returning to study soon after an extended time teaching in schools to gain practical experience.

ZAMBIA

There are 2 deaf boys sponsored in Zambia now. One of these boys is also crippled and we have already provided a wheelchair for him. His sponsorship is expensive and both boys are at residential schools, so if you are interested in supporting them please let me know. Education is expensive and difficult for the deaf in African countries.

IMMANUEL CHRISTIAN SCHOOL for the DEAF in KENYA

In 2011 this school gained the 2nd best scholastic results nationally among 38 schools for the deaf. This is a tribute to the principal and the dedicated teachers at ICSD. The school also competes in Inter School Sports and was 3rd best overall with 4 deaf students representing the province at national level. Each year several students pass the difficult national exams that allow them to go on to high school. This school plays an active part in deafness awareness in the local community.

A new brick dormitory for up to 70 students has been completed with financial assistance from our long standing USA friends who have supported this school over the years. A new brick entrance and solid gate will help with security and a permanent bath house has been commenced, but assistance with funding is needed for it to be completed. They soap up and rinse off with jugs of cold water here also! The farm now has hundreds of chickens for fresh eggs and meat, a cow for milk, goats, donkeys to cart water and many fruits and vegetables. The produce from the farm provides fresh nutritional food for the children and any excess is sold to help support the school.

We are finding it very difficult to adequately support the schools; even though they are very frugal in their administration. We do not even have the minimum amount they need some months, so we really appreciate your ongoing financial support. If you know anyone who is interested in supporting this work or would like a speaker for their group please contact me.



THANK YOU VERY MUCH FOR YOUR SPONSORSHIP AND SUPPORT.

Jenny Reid – Voluntary Sponsorship Coordinator

JAPAN: We give thanks for every sponsor in Japan, and this helps with the overall support for the schools and children. Unfortunately some of our regular sponsors, due to changed circumstances, have had to stop sponsoring, so we are in desperately need of new sponsors to take on the task of sending 3000 yen per month, to help maintain the schools, and give a good education to deaf students, who would otherwise be illiterate. It is also our joy to share the love of God with each child. In Japan, please contact Alayne Madore at 075-871-8562 or alaynemadore@mbr.nifty.com.